

日本環境効率フォーラム平成22年度活動計画(案)

日本環境効率フォーラムは、以下の活動を行う。

1. 事業内容

(1) 調査研究活動

① 環境効率手法の活用, 改善, 発展等の検討

【ワーキンググループ (WG) ・研究会】

WG ・研究会を通じて, 調査・研究活動の場, 意見交換の場を提供する。

② 海外関係機関との交流活動

【国際標準化に関する検討】

ISO14045 規格化へ向けてわが国としての対応について情報共有し, 意見発信を行う。

(2) 普及啓発活動

① 環境効率手法の普及活動

【環境効率アワード 2010 の実施】

環境効率アワード2010 を実施し, 環境効率に積極的に取り組む企業等の優れた活動を表彰する。

② 環境効率向上の取組みに関わる情報発信

【フォーラム WEB サイト】

フォーラム活動の情報発信・情報提供に努める。

③ セミナーの実施

【セミナーの開催】

環境効率に関するセミナーを開催する。

(3) 会員相互の交流

【ニュースレター】

フォーラムの活動について情報共有を図る (年2回程度発行)

2. 年間スケジュール

(1) 総会 年1回 (8月)

(2) 運営委員会 年2回程度 (6月、3月)

(3) WG ・研究会

①ファクターX標準化WG (継続)

年2回程度活動を行う。ガイドラインの普及を含めた連絡会を主体とする。

②ICT の環境効率評価手法に関する研究会 (継続)

・ICT 小研究会1 : システムの価値についての検討, 価値算出の試行などを行う。

・ICT 小研究会2 : ICT サービスサイジングの典型的な評価モデルの策定、
同モデルについての環境負荷低減効果の定量評価などを行う。

③付加価値を基礎とした環境効率指標 WG (新規)

環境効率算出支援を通じた環境効率の普及のための検討を行う。

(4) 環境効率アワード 2010

表彰式 (12月)

(5) セミナー

年3回程度 (総会セミナー/表彰記念セミナー/環境効率の最新動向がわかるセミナー)

以上

平成22年度 収支予算(案)

(単位:千円)

科目	予算(X)	
I.収入の部		
1.会費	930	
		フォーラム年会費(法人会員) @ 20 × 39 社 = 780
		フォーラム年会費(個人会員) @ 5 × 30 人 = 150
2.事業費	90	
		セミナー参加費(非会員) @ 3 × 30 人 = 90
3.前期繰越金	173	
収入合計(A)	1,193	
II.支出の部		
1.セミナー関係費	630	
		会場費 300
		講師謝金 80
		講師旅費 50
		セミナー関係雑費 200
2.アワード関係費	500	
		選定委員会経費(謝金、旅費、会議費) 125
		アワード式典・受賞企業副賞等 180
		記念講演経費(謝金、旅費) 100
		アワード関係雑費 95
3.運営委員会活動費	45	
		旅費 40
		雑費 5
4.その他雑費	18	
		事務費 8
		諸経費 10
支出合計(B)	1,193	
収支差(A-B)	0	

※WG・研究会は独立して会計を行うため上記に含まず。